

平成 30 年新年交礼会をホテル日航奈良にて、一般社団法人奈良電業協会と共同で開催した。新年交礼会には荒井正吾知事を始め奈良県より金剛まちづくり推進局長、増田同次長、城垣建設業契約管理課長、植田課長補佐、森宮繕プロジェクト室長補佐、関係団体より一般社団法人奈良県建築士会、一般社団法人奈良県建設業協会、奈良県設備設計事務所協会から来賓や関係者約 120 人が出席、両協会が連携し一層発展していくことを誓い合った。



荒井奈良県知事

森村空衛協会会長

冒頭森村会長より両協会は、快適で便利な設備環境づくりに邁進するため、情報交換や共通する課題への取り組みを行っている。その一環で今回の合同開催となったと連携による取り組みを強調したうえで、原材料価格の上昇や人手不足など環境は依然として厳しい。また昨年の台風被害は私達の生活に多大の影響があった。インフラの老朽化時代を迎え構造物の維持修繕の重要性が高まる中、若年労働者を中心とした人材確保と育成に組み込み、魅力ある産業であることをしっかり発信したい。と挨拶



藤原電業協会会長



阪田空衛協会副会長

荒井県知事は県内の工場立地件数は確実に増加し盛り上がっている。大型建築物の動きがある中で、今年はホテルと工場の誘致に拍車をかけたい。町の賑わい装いを改善するのに知恵を貸して欲しいなどとエールを頂いた。藤原会長は奈良をしっかりと守るために雇用を増やし若手に仕事を教えて活性化を図りと乾杯発声し、終始和やかな雰囲気交流を深めあった。

最後に阪田副会長は両協会は共に豊かな生活と快適な環境を目指し、社会的に重要な使命を担っていききたいと決意を語り新年交礼会を締めくくった。

